

別記2 営農類型

(1)個別経営体（平坦地）

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 麦 + 大豆	<作付面積等> 水稻 ・きぬむすめ 5.1ha ビール大麦 ・サチホゴールド 9ha 大豆 ・タマホマレ、サチ ユタカ 9ha <経営面積> 水田 23ha	<主たる資本装備> [共通] ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t車 1台 ・軽トラック 1台 ・育苗ハウス 1棟 ・トラクター 1台 ・耕耘ロータリー 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機 1台 ・ライスグレーダー 1台 [水稻] ・自動播種機 1台 ・催芽器（電熱育苗器） 1台 ・側条施肥田植機 6条植 1台 ・動力散布機 1台 [大麦、大豆] ・作溝機 オーガー式 1台 ・施肥播種機 6条 1台 ・乗用管理機 1台 ・背負動力散布機 2台 ・中耕ローター 3連 1台 ・大豆コンバイン 1台 <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 飼料稲	<作付面積等> 水稻 ・きぬむすめ 19ha 飼料稲 ・みほひかり 10ha <経営面積> 水田 29ha	<主たる資本装備> [共通] ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 ・耕耘ロータリー 1台 [水稻] ・育苗ハウス 1棟 ・自動播種機 1台 ・催芽器 (電熱育苗器) 1台 ・側条施肥田植機 6条植 1台 ・動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機 1台 ・ライスグレーダー 1台 <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.6人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 露地野菜	<作付面積等> 水稻 ・コシヒカリ 1.5ha ブロッコリー ・ピクセル、グラ ンドーム 1.6ha (0.8ha) (春作+秋作) <経営面積> 水田 2.3ha	<主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 1トン積 1台 ・トラクター4輪駆動 1台 ・ロータリー 1台 [水稻] ・田植機 5条 1台 ・動力散布機 1台 ・コンバイン 1台 ・作溝機 1台 [ブロッコリー] ・マニユアスプレッダー 1台 ・移植機 半自動 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 可搬式 1台 ・高床式運搬車 1台 (水稻の育苗は島根県農業協 同組合出雲地区本部の育苗セ ンターより。乾燥調整はカント リーエレベーターを利用) <その他> ・水稻については、作業期間の 拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回 避する。	・複式簿記の 記帳により 経営と家計 の分離を図 る。 ・青色申告を 行う。 ・自己資本の 充実を図 る。 ・経営体内部 の役割分担 を図る。	・休日制や給 料制を実施 して、労働 環境の充実 を図る。 ・休憩時間の 確保、作業 の安全を確 保する。 ・収穫・出荷 調整等の労 働ピーク時 の雇用労働 力の確保を 図る。 ・換気等の作 業環境の改 善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 露地野菜 + 施設野菜	<作付面積等> 水稻 ・コシヒカリ(直播) 1.2ha ブロッコリー ・ピクセル、グラン ドーム (春作+秋作) 0.14ha 葉ねぎ ・鴨頭、冬作 30a <経営面積> 水田 1.37ha	<主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 ・ロータリー 1台 [水稻] ・あぜぬり機 1台 ・乗用管理機 1台 ・乗用多目的田植機 1台 ・背負動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物搬送コンテナ 1台 ・循環式乾燥機 2台 ・揺動式もみすり機 1台 ・穀物選別計量機 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・作溝機 1台 ・自動催芽器 1台 [ブロッコリー] ・マニュアルプレッダー 1台 ・移植機 半自動 1台 ・高床式運搬車 1台 [葉ねぎ] ・パイプハウス 4棟 ・定置配管 1式 ・濾過器 1台 ・農用井戸(地下水) 1本 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 1台 ・ブロードキャスター 1台 <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。 ・葉ねぎはJAの共同調整出荷施設を利用する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.8人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稲 + 露地野菜 + 施設野菜	<作付面積等> 水稲 ・コシヒカリ 1.8ha たまねぎ ・ターザン、もみじ 3号 35a キャベツ ・味春・来陽・YRSE 35a アスパラガス ・ウェルカム 35a <経営面積> 水田 2.5ha	<主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 1トン積 1台 ・トラクター4輪駆動 1台 ・ロータリー 1台 [水稲] ・代かきハロー 1台 ・播種機 1台 ・田植機 5条 1台 ・動力散布機(背負式) 1台 ・コンバイン3条刈 1台 [野菜] ・乾燥施設 吊り小屋 1棟 ・乾燥施設 2棟 ・マニュアルプレッダー 1台 ・フロントローダー 1台 ・サイドリッジャ 1台 ・高床式作業車 1台 ・動力噴霧機 1台 ・玉ねぎ堀取機 1台 ・パイプハウス 11棟 ・灌水施設 1式 ・冷蔵庫 一坪用 1台 ・管理機 6PS 1台 ・動力噴霧機 1台 (水稲の育苗はJAの育苗センターから。乾燥調整はコントリーエレベーターを利用) <その他> ・水稲については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 露地野菜 + 施設野菜	<作付面積等> 水稻 ・きぬむすめ(直播) 9.4ha 白ねぎ ・夏扇2号 10a アスパラガス ・ウェルカム 20a <経営面積> 水田 9.7ha	<主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 4WD 1台 ・ロータリー 1台 ・トラクター 1台 [水稻] ・あぜぬり機 1台 ・乗用管理機 1台 ・乗用多目的田植機 1台 ・背負動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 3条 1台 ・穀物搬送コンテナ 1台 ・循環式乾燥機 2台 ・揺動式もみすり機 1台 ・穀物選別計量機 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・作溝機 1台 ・自動催芽器 1台 [アスパラガス] ・パイプハウス 5棟 ・灌水施設 1式 ・冷蔵庫 一坪用 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 1台 <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 施設野菜	<作付面積等> 水稻 ・コシヒカリ 1.8ha きゅうり ・アルファード節成 (スーパー雲竜) 35a トマト ・ハウス桃太郎 35a <経営面積> 水田 1.8ha パイプハウス 35a	<主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 1トン積 1台 ・トラクター 1台 ・ロータリー 1台 [水稻] ・田植機 5条 1台 ・動力散布機(背負式) 1台 ・コンバイン 1台 ・作溝機 1台 [野菜] ・作業場兼収納舎 1棟 ・パイプハウス本体 9棟 ・灌水ポンプ(電動式) 1台 ・農用井戸(地下水) 1本 ・濾過器 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 1台 ・プレハブ冷蔵庫 2坪用 1台 (水稻の育苗は島根県農業協同組合出雲地区本部の育苗センターより。乾燥調整はコントリーエレベーターを利用) <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・作業ピークの解消が図られるような作型調整を行う。 ・土作り等を徹底し高品質生産を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実にを図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.8人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 施設果樹	<作付面積等> 水稻 ・コシヒカリ 1.6ha ぶどう ・デラウェア (普通加温) 10a (準加温) 10a (無加温) 10a ・シャインマスカット (無加温) 10a (加温) 10a <経営面積> 水田 1.6ha パイプハウス 50a	<主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 1台 ・トラクター 1台 ・ロータリー 1台 [水稻] ・田植機 5条 1台 ・動力散布機(背負式) 1台 ・コンバイン3条刈 1台 ・作溝機 1台 [ぶどう] ・灌水施設 スプリンクラー 4式 ・高度化パイプハウス 5棟 ・自走式運搬車 1台 ・可搬式動力噴霧器 1台 ・温風加温機(重油) 1台 ・梱包機 1台 ・ハンマーナイフモア 1台 (水稻の育苗は島根県農業協同組合出雲地区本部の育苗センターより。乾燥調整はコントリーエレベーターを利用) <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・果実の高品質生産や省エネ対策を図る。 ・樹勢を考慮した作型のローテーションを行う。 ・炭酸ガスの施用により成育の促進を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
果樹（かき）	<p><作付規模等> かき（露地） 西条 150a</p> <p><経営面積> 果樹園 150a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・可搬式動力噴霧機 1台 ・ハンマーナイフモア 1台 ・軽トラック 1台 ・自走式動力運搬車 1台 ・バークストリッパー 1台 ・灌水施設 1台 ・スプリンクラー 4式</p> <p><その他> ・低樹高仕立てを行う。 ・高品質生産を図る。 ・機械利用の効率化が図られるよう樹園地の集団化と基盤整備を行う。 ・無霜地域とし、防風対策を行う。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 0.3人</p>

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	経営規模
水稲 + 施設花き	<作付面積等> 水稲 ・コシヒカリ(直播) 6.2ha きく ・9月出し 20a ・8月出し 20a ・年末電照 20a <経営面積> 水田 6.2ha パイプハウス 40a	<主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 [水稲] ・あぜぬり機 1台 ・ロータリー 1台 ・乗用管理機 1台 ・乗用多目的田植機 1台 ・背負動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物搬送コンテナ 1台 ・循環式乾燥機 2台 ・揺動式もみすり機 1台 ・穀物選別計量機 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・作溝機 1台 ・自動催芽器 1台 [きく] ・パイプハウス 3棟 ・かん水ポンプ 1式 ・加温機 3台 ・電照装置 3式 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 可搬式 1台 ・予冷庫 1.5坪 1台 ・運搬車 1台 <その他> ・水稲については、作業期間の拡大を図る。 ・作型、品種の組み合わせにより労力配分を図る。 ・地力対策や連作障害対策を実施する。 ・出荷単位を考慮して、1品種3a以上の作付と花色バランスを図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.5人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
施設果樹	<p><作付面積等> ぶどう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デラウェア (早期加温) 10a ・ (普通加温) 10a ・ (準加温) 10a ・ (無加温) 10a ・ シャインマスカット (無加温) 15a ・ (加温) 15a <p><経営面積> パイプハウス 70a</p>	<p><主たる資本装備> [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業場・農機具庫 1棟 ・ 軽トラック 4WD 1台 ・ 高度化パイプハウス 6棟 ・ 灌水施設 スプリンクラー 2式 ・ 自走式運搬車 クロー 1台 ・ 可搬式動力噴霧器 1台 ・ 温風加温機 (重油) 2台 ・ 炭酸ガス発生機 1台 ・ 梱包機 1台 ・ ハンマーナイフモア 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 果実の高品質生産や省エネ対策を図る。 ・ 樹勢を考慮した作型のローテーションを行う。 ・ 炭酸ガスの施用などにより成育の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・ 青色申告を行う。 ・ 自己資本の充実を図る。 ・ 経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日制や給料制を実施して、労働環境の充実にを図る。 ・ 休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・ 収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・ 換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主たる従事者 1人 ・ 補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
施設果樹	<p><作付面積等> ぶどう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デラウェア (早期加温) 10a (普通加温) 10a (準加温) 10a (無加温) 10a ・シャインマスカット (無加温) 10a (加温) 10a <p>すもも</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴陽・太陽 10a <p><経営面積> パイプハウス 70a</p>	<p><主たる資本装備> [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場・農機具庫 1棟 ・軽トラック 4WD 1台 <p>[ぶどう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度化パイプハウス 6棟 ・灌水施設 5式 ・自走式運搬車 1台 ・可搬式動力噴霧器 1台 ・温風加温機(重油) 2台 ・炭酸ガス発生機 1台 <p>[すもも]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプハウス棟 1棟 ・平棚 2式 ・かん水施設 スプリンクラー 2式 ・自走式動力運搬車 1台 ・可動式動力噴霧機 1台 ・果樹園用中耕機 1台 ・ハンマーナイフモア 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の高品質生産や省エネ対策を図る。 ・樹勢を考慮した作型のローテーションを行う。 ・炭酸ガスの施用などにより成育の促進を図る。 ・果実の高品質生産や省エネ対策を図る。 ・機械利用の効率化が図られるよう樹園地の集団化と基盤整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実にを図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
施設野菜	<p><作付面積等> トマト ・ハウス桃太郎 40a</p> <p>きゅうり ・アルファード節成 (スーパー雲竜) 30a</p> <p>ほうれんそう ・リード 57a</p> <p><経営面積> パイプハウス 57a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 4WD 1台 ・パイプハウス 8棟 ・灌水ポンプ 2式 ・育苗ハウス 1棟 ・農用井戸 打込式 1本 ・濾過器 2台 ・トラクター 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 1台</p> <p><その他> ・土作り等を徹底し高品質生産を図る。 ・作業ピークの解消が図られるような作型調整を行う。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 1.6人</p>

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	経営規模
施設花き	<p><作付面積等> ストック(スプレイ) ・カルテットシリーズ 14.4a トルコギキョウ F1 39.6a <経営面積> パイプハウス 39.6a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1台 ・育苗ハウス 1棟 ・乗用トラクター 1台 ・動力噴霧機 可搬式 1台 ・灌水ポンプ 4台 ・保冷库 1.5坪 1台 ・パイプハウス 11棟</p> <p><その他> ・作型、品種の組み合わせにより労力配分を図る。 ・地力対策や連作障害対策を実施する。 ・出荷単位を考慮して、1品種1,000本程度の作付と花色バランスを図る。 ・育苗はJAで行う。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 1.4人</p>

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	経営規模
施設花き	<p><作付面積等> シクラメン ・パステル系 F1系 27a</p> <p>西洋アジサイ ・ミセスクミコ他 13.5a</p> <p>花壇用苗物 ・ナデシコ、サルビア、ピンカ、パンジー 18a</p> <p><経営面積> パイプハウス 27a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・パイプハウス 6棟 ・ベンチー式C型鋼 6式 ・加温機 6台 ・動力噴霧機 セット動噴 1台 ・用土混合機 (ミキサー) 1台 ・液肥混入機 1台 ・フォークリフト 1台 ・出荷用台車 7段 4段 5台 ・パイプハウス 6棟 ・内張装置 6台 ・真空播種機 1台 ・電熱温床 (育苗マット) 1式</p> <p><その他> ・作型、品種の組み合わせにより労力配分を図る。 ・出荷単位を考慮して、1品種の数量と花色バランスを図る。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 2人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 1.6人</p>

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
酪農	<p><飼養頭数等> 乳用牛 フリーストール方式 200頭</p>	<p><主たる資本装備> [乳用牛] ・乳用牛畜舎 1棟 ・農機具舎 1棟 ・堆肥化施設 1等 ・ミルクングパーラー 1式 ・トラック 2tダンプ 1台 ・トラクター4輪駆動 1台 ・トラクター2輪駆動 1台 ・バキュームカー 1台 ・フロントローダー 1台 ・ロールベアラー 1台 ・バルククーラー 1台 ・電気温水器 1台 ・カウマット 200枚 ・TMRミキサー 1台 ・各種機械 1式</p> <p><その他> ・農畜連携によって飼料稲WC Sの供給を受ける。 ・牛群検定により高泌牛乳の留保を図る。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 3人</p> <p>・年間雇用者 2.6人</p>

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
肉用牛 (放牧)	<p><飼養頭数等> 肉用牛 ・放牧 40頭</p>	<p><主たる資本装備> ・畜舎 1棟 ・堆肥舎 1棟 ・堆肥貯蔵庫 1棟 ・農機具舎 1棟 ・牧柵 4800m ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 ・アタッチメント 1式</p> <p><その他> ・放牧を取入れ、コストの低減を図る。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 0.14人</p>

(2)個別経営体（中山間地）

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<p>水稻 ＋ 肉用牛 (繁殖)</p>	<p><作付面積等> 水稻 ・コシヒカリ 5ha 肉用牛 ・子牛生産 40頭 <経営面積> 水田 5ha 飼料畑 4.0ha (夏作) スーダングラス (秋冬作) イタリアンライ グラス 肉用牛 40頭</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 1トン 1台 ・トラクター 1台 [水稻] ・田植機 1台 ・動力散布機(背負式) 1台 ・コンバイン(自脱型) 1台 ・作溝機 1台 [肉用牛] ・畜舎 2棟 ・堆肥舎 1棟 ・堆肥貯蔵庫 1棟 ・パドック 1棟 ・アタッチメント 1式 (水稻の育苗は島根県農業協同組合出雲地区本部の育苗センターより。乾燥調整はコントリーエレベーターを利用) <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。 ・良質な粗飼料を確保し、放牧を進め省力化を図る。 ・1年1産技術の確立を図る。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人</p>

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 酪農	<作付面積等> 水稻 ・コシヒカリ(直播) 7.0ha 乳用牛 ・2列繋ぎ方式 50頭 <経営面積> 水田 7.0ha 乳用牛 50頭	<主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 2トン積 1台 ・トラクター70ps 1台 ・トラクター50ps 1台 [水稻] ・田植機 1台 ・動力散布機(背負式) 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・作溝機 1台 [乳用牛] ・乳用牛畜舎 1棟 ・堆肥舎 1棟 ・農機具舎 1台 ・パイプラインミルクカー 1式 ・バルククーラー 1台 ・バークリーナー 1台 ・ロータリー 1台 ・バキュームカー 1台 ・マニュアルスプレッダー 1台 ・ブロードキャスター 1台 ・フロントローダー 1台 ・モアコンディショナー 1台 ・ヘイメーカー 1台 ・ロールベーラー 1台 ・スプレヤー 1台 ・電気温水器 1台 (乾燥調整はカントリーエレベーターを利用) <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・農畜連携によって飼料稲WC Sの供給を受ける。 ・牛群検定により高泌牛乳の留保を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 1.5人

(3)組織経営体

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 麦 + 大豆	<作付面積等> 水稻 ・きぬむすめ 7.5ha ビール大麦 ・サチホゴールド 7.5ha 大豆 ・タマホマレ、サチ ユタカ 7.5ha <経営面積> 水田 22.5ha	<主たる資本装備> [共通] ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 ・耕耘ロータリー 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 [水稻] ・育苗ハウス 1棟 ・自動播種機 1台 ・催芽器（電熱育苗器） 1台 ・側条施肥田植機6条植 1台 ・動力散布機 1台 ・粃摺機 1台 [大麦、大豆] ・作溝機 オーガー式 1台 ・施肥播種機 1台 ・乗用管理機 1台 ・背負動力散布機 2台 ・自脱型コンバイン 1台 ・中耕ローター 3連 1台 ・大豆コンバイン 1台 （大豆乾燥調整は外部委託） <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.2人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 麦 + そば	<作付面積等> 水稻 ・きぬむすめ 16ha ビール大麦 ・サチホゴールド 13ha そば ・在来種、信濃1号 13ha <経営面積> 水田 42ha	<主たる資本装備> [共通] ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 ・耕耘ロータリー 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・ライスグレーダー 1台 ・作溝機 オーガー式 1台 [水稻] ・育苗ハウス 1台 ・自動播種機 1台 ・催芽器 (電熱育苗器) 1台 ・側条施肥田植機 6条植 1台 ・動力散布機 1台 ・糞摺機 1台 [大麦、そば] ・施肥播種機 1台 ・乗用管理機 1台 ・背負動力散布機 2台 <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0.8人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
水稻 + 飼料稲	<作付面積等> 水稻 ・きぬむすめ 18.7ha 飼料稲 ・みほひかり 15ha <経営面積> 水田 33.7ha	<主たる資本装備> [共通] ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター 1台 ・耕耘ロータリー 1台 ・自動播種機 1台 ・催芽器（電熱育苗器） 1台 ・側条施肥田植機 6条植 1台 ・動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 （水稻の育苗は島根県農業協同組合出雲地区本部の育苗センターより。乾燥調整はカントリーエレベーターを利用） <その他> ・水稻については、作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換のより連作障害を回避する。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 1.8人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
WCS + 作業受託	<p><作付面積等></p> <p>WCS飼料用稲 10ha</p> <p>水稻作業受託 10ha</p> <p>WCS刈取作業 10ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプハウス 1棟 ・農機具舎 1棟 ・育苗箱 200個 ・育苗シート 1巻 ・トラック6トン車 1台 ・トラクター 2台 ・WSC収穫機 1台 ・ベールグリッパー 2式 ・ラップマシーン ・ブリッジ <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻受託作業は耕起、代かき、田植のみ ・WCSは早生品種を作付。収穫後、中生品種の刈取作業を請負う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 2人 ・補助従事者 人 ・年間雇用者 0.64人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
肉用牛 (肥育)	<p><飼養頭数等></p> <p>肉用牛 ・肥育 200頭</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎 3棟 ・堆肥舎 1棟 ・堆肥貯蔵庫 1棟 ・農機具舎 1棟 ・飼料庫 1棟 ・敷き料庫 1棟 ・換気扇 ・トラック2トン 1台 ・ホイローダー 1台 ・飼料運搬車 1台 ・牛衝器 1台 ・高圧洗浄機 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝肉単価の維持に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 2人 ・年間雇用者 0.64人